



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.45 / 2010 年 4 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第 45 号をお届けします。今回は、2009 年度の AP 研の活動状況、ISAP2010 開催のお知らせ、技報年間予約購読の紹介です。

【1】2009 年度の AP 研の活動状況

3 月 17 日に通ソ研専運営会議が仙台東北大学で開催されました。その中で、AP 研も含む、通信ソサエティの各研究専門委員会の活動状況が報告されました。主なデータは以下の通りです（なお、カッコ内は昨年度の数字です）。ご覧の通り、AP 研は 1 位、2 位を争う、非常にアクティビティの高い研究会であることがわかります。これも皆様のご投稿のおかげです。今後とも皆様の積極的なご投稿、よろしくお願いいたします。

- 大会発表件数 : 476 件 (484 件) (1 位, 2 位は NS 研で 265 件)
- 研究会発表件数 : 231 件 (250 件) (2 位, 1 位は RCS 研で 342 件)
- 技報告予約数 : 361 件 (381 件) (1 位, 2 位は RCS 研で 348 件)
- 売上貢献度 : 981.4 (1017.4) (1 位, 2 位は RCS 研で 892.4, 目安値:190)
- 研究活動度 : 938 (984) (2 位, 1 位は RCS 研で 1028, 目安値:150)

詳細は、本会議資料が、以下の URL で公開されておりますので、そちらをご覧ください。

(本内容に関しては、63 ページ目以降に記載があります)

URL: http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/files/kensen_09_4.pdf

【2】ISAP2010 開催のお知らせ

ISAP(アンテナ伝播国際シンポジウム)は、1971 年に仙台の東北大学で第 1 回 ISAP'71 が開催され、今回が 15 回目の開催となります。第 3 回までは 1978 年(仙台)、1985 年(京都)と 7 年毎に開催され、その後、1989 年(東京)、1992 年(札幌)、1996 年(幕張)、2000 年(福岡)と概ね 4 年毎に開催されてきました。さらに、2002 年には 4 年毎の開催を補完する ISAP i-02”が横須賀で開催され、2004 年には仙台で第 9 回が開催されました。その後、開催地をアジア太平洋地域に拡大し、2005 韓国のソウル、2006 年シンガポール、2007 年 新潟、2008 年台北、2009 年バンコクにて開催され、ISAP はアジア太平洋地域におけるアンテナ伝播の中心的会議として定着し、この地域の同分野の発展に大きく寄与してきました。

第 15 回目となる ISAP2010 は、以下の通り開催されます。

日時 11 月 23 日-26 日

場所 マカオ VENETIAN MACAO RESORT HOTEL

論文投稿締め切りは 7 月 3 日です。奮ってご応募ください。詳細、最新情報は以下を参照してください。 <http://www.isap2010.org/index.html>。

【3】 技報年間予約購読の紹介 ～技報オンラインシステム～

AP 研究会で山口良さんが紹介してきました。また、3 月の総合大会でもパンフレットが配布されていましたが、信学技報の年間予約購読をすると、2006 年度以降の技報 PDF が閲覧可能という特典がきます。技報オンラインシステムの特長は、以下の通りで、大変便利です。

- － 2006 年度以降の技報 PDF を閲覧可能
- － 第一種研究会の 1 週間前から閲覧可能
- － カラー原稿に対応 (AP 研約 400 編, 他 50 編)
- － 併催通ソ研究会の技報も 50 編閲覧可能

この特典を受けるには、ユーザ登録が必要です。AP 研のホームページに、信学技報の年間予約購読に関する特典と技報オンラインシステムへのアクセス方法について詳細が掲載させています。

<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>。また、通信ソサエティからの紹介は以下の URL よりアクセス可能です。<http://www.ieice.org/cs/jpn/whats/pdf/g100310.pdf>

2010 年度の AP 研技報の年間予約価格は 17,325 円で、当日技報価格 (約 25,000 円) より割安になります。まだ、年間購読をされていない方は、是非、この機会にお申し込みください。また、お近くの方へもこれらの特典をお知らせして、年間購読をお誘いして下さるようお願いいたします。

【4】 AP 研副委員長の戯言

3 月の総合大会参加のため、久しぶりに仙台を訪れました。初日は広瀬通にあるホテルから東北大学川内キャンパスまで歩きましたが、広瀬川にかかる仲瀬橋から見た真っ白い雪山が鮮烈で、印象的でした。このところ、暑い日と寒い日が交互に繰り返していますが、仙台は寒い日が続く、ホテルの部屋の暖房を入れるのを忘れ、すっかり風邪をひいてしまいました。しかし、ホテルには、市街にもかかわらず、栃木、森友の湯を運んできた天然温泉の浴室があり、快適に過ごせました。ここの天然温泉の浴室は1つかなく、時間帯で男女を区別していました (例えば、18時から20時45分は女、21時から翌朝6時45分は男など)。仙台の街は地下鉄ができ、東北大学も建物、講義室がきれいに改装され (2009 年実施と聞きました)、構内では地下鉄工事が行われていました。仙台市の人口も約 100 万人とのことで、隔世の感があります。次回の総合大会かソサイエティ大会があるときは、東北大学まで地下鉄で通うことになると思います。

今年は、4 月韓国での日韓合同アンテナ伝播ワークショップ、5 月南京 東南大学での AP 研究会、11 月の ISAP2010 など AP 研が関係する国際会議が続きます。アジアとの連携は重要ですので、国内の AP 研究会はもちろん、国際会議への皆様のより一層のご協力をよろしく申し上げます。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 正源和義 (NHK)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org

AP-NET : AP 研の最新情報を毎月メールにてお届けします！！登録は AP 研 HP にて

AP 研 HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

ISAP Archives : <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

